

就職活動のスケジュールは 2016 年春の卒業予定者から大きく変わります。

経団連が加盟企業（約 1300 社）向けの指針において、会社説明会の解禁時期を 2015 年 3 月、面接などの選考活動は 2015 年 8 月へと、現行より説明会は 3 カ月、選考活動は 4 カ月遅らせることとなりました。経団連に加盟していない外資系企業や IT 系企業などが早めに採用活動をする状況は変わらないといわれておりますし、中小企業などにどれほどの影響を及ぼすかはわかりませんが、就職活動のスケジュールにおいて、経団連の指針を無視することはできません。

このような情勢にともない、『勝つための就職ガイド SUCCESS 講師用ガイドブック（改訂第 2 版第 1 刷 発行日：平成 25 年 3 月 15 日）』においても、就職活動の流れを変更いたします。

以下をご参照いただき、内容を置き換えて学習を進めてくださいますようお願いいたします。

該当箇所	テキスト（改訂第 2 版第 1 刷）内容	改訂内容
P18 Ⅱ．就職活動の流れ（テキスト P14）	～したがって、就職指導のカリキュラムを組む際は、内定のピークに合わせる事が最も大切です。 <u>最近の実例としては、情報処理関連企業は 3 月から、一般企業は 4 月から内定が出始め、5～6 月でピークを迎えています。</u> スタートダッシュがいかに大切か、また、全てにおいて学生から積極的に行動することが何よりも大切であるということを十分説明してください。	（※波線部_____は、今後の動向が不透明であるため、個別の状況に合わせて内容を置き換えて学習を進めてください。）
Ⅱ－1．テーマ解説 就職活動の早期化 (1)新・就職協定（倫理憲章）のスタート	日本経団連は早期の就職活動開始が学生の学業に影響することを鑑み、 <u>2011 年 12 月 1 日から企業の採用広報活動の開始するよう会員企業に告知、これが事実上の解禁日となった。</u> → <u>12 月 1 日から、企業へのエントリー、合同企業ガイダンスの開催開始</u> →選考開始は、 <u>4 月 1 日以降</u>	日本経団連は早期の就職活動開始が学生の学業に影響することを鑑み、 <u>2015 年 3 月 1 日から企業の採用広報活動の開始するよう会員企業に告知、これが事実上の解禁日となった。</u> → <u>3 月 1 日から、企業へのエントリー、合同企業ガイダンスの開催開始</u> →選考開始は、 <u>8 月 1 日以降</u>
P19 (3)専門学校生、短大生も前倒し傾向に	<u>大学生の採用の早期化に伴い、専門学校生・短大生も前倒しになっている。</u> ・ <u>四大理系→四大文系→専門学校生・短大生→高校生と続く</u> ・ <u>四大生の内定出しのピークは 5～6 月、実質 7 ヶ月の超・短期決戦化</u>	（※波線部_____は、今後の動向が不透明であるため、個別の状況に合わせて内容を置き換えて学習を進めてください。）

※最新の追補情報はウイネットホームページ (<http://wenet.co.jp/guide/>) で公開しております。

[就職支援]を選択し、該当書籍の詳細ページをご確認ください。